

<注意事項>

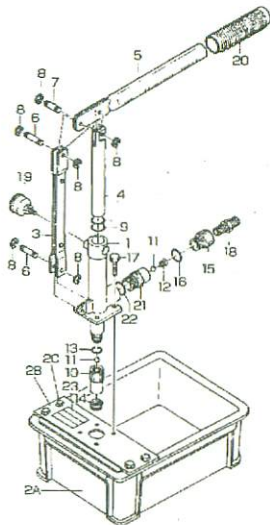
◆凍結の防止

本試験機は必ず屋内等の凍結しない場所で保管して下さい。配管内の水が凍結して安全弁等を破損する恐れがあります。

◆ポンプの吸水弁の貼り付き防止

ポンプは定期的に（少なくとも1カ月に一回程度）吸水操作して下さい。吸水弁が貼り付いて吸水出来なくなることがあります。もし吸水弁が貼り付いてしまった時は以下の方法で簡単に修復することが出来ます。

◆テストポンプ構造図

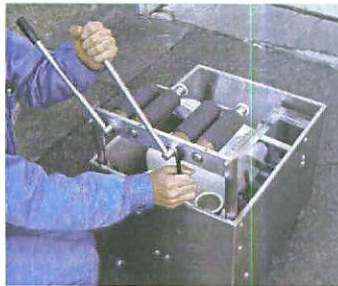


構成部品一覧表		
番号	品名	部品番号
1	シリンダー	S3B-101
2A	水 壇	S3B-102
2B	ポンプスタンド	S3B-103
2C	スタンドボルト	S3B-104
3	サポート	S3B-105
4	ブラジジャー	S3B-106
5	ハンドル	S3B-107
6	支持ピン	S3B-108
7	支点ピン	S3B-109
8	スナップリング	S3B-110
9	ブラジジャーOリング(P-22)	S3B-111
10	吸水用ケース	S3B-112
11	吸吐水弁	S3B-113
12	スプリング	S3B-114
13	吸水用ケースOリング(P-14)	S3B-115
14	ストレーナー	S3B-116
15	バルブジョイント	S3B-117
16	吐水用Oリング (P-15)	S3B-118
17	ボルト	S3B-119
18	ニップル	S3B-120
19	グリースカップ	S3B-121
20	グリッパ	S3B-122
21	吐水弁座	S3B-123
22	吐水Oリング (P-18)	S3B-124
23	靴 板	S3B-125

- ①「シリンダー(1)」を固定している「ボルト(17)」4本を外します。
- ②「吸水用ケース(10)」をねじ部で外します。
- ③「吸水用ケース(10)」のねじ側を机等の硬い面に軽くぶつけて、内部に貼り付いた「吸吐水弁(11)」を取り出します。
- ④「吸吐水弁(11)」をウエス等で良く拭きます。
- ⑤「吸吐水弁(11)」を「吸水用ケース(10)」の内部に入れて。元通りに組立てます。
- ⑥ポンピングを行って、吸水が出来ることを確認して下さい。

◆クランプブレーキの増し締め

クランプブレーキは適度に締めてご使用下さい。ブレーキがあまいとホースをクランプ出来ないことがあります。クランプブレーキの増し締めの方法は以下の通りです。



クランプブレーキ

ハンドルを押さえ、引掛けスパナ(30-32φ用)を用いてクランプブレーキを締めて下さい。
(多少キズがつきますがパイプレンチで代用する事が出来ます。)

日本消防ホース工業会

〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-5-13 日本橋富士ビル 帝商(株)内 TEL 03-3245-1777

芦森工業株式会社	東京防災営業部	TEL 03-3246-7302
櫻 護 謨株式会社	第一営業部	TEL 03-3466-2181
帝国繊維株式会社	防災統括部	TEL 03-3281-3032